

2019年10月27日(日)13:30~16:30

令和元年度女性のチャレンジ支援事業

女性のチャレンジシンポジウム

講座レポート



基調講演

「もっと輝く明日からの生き方

～女性が生み出すソーシャル・インパクト、キーワードは「エンパワーメント」～

講師 大崎 麻子さん

特定非営利活動法人Gender Action Platform理事、公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン理事、関西学院大学客員教授、元国連開発計画(UNDP)職員

世界が目指しているのは、 **Women&Girls**

ジェンダー平等 & 女性のエンパワーメント

男性と女性が**等しく**
権利、機会、責任を
持ち、**意思決定**にも
対等に参画する

人生や日常生活におけるあ
らゆる**選択肢**を**自分の意思**
で**選び取る力**、男性と対等
に**意思決定に参加**するた
めに必要な力を身につけること



そのために必要なこと

- ①健康(健康で長生き)
- ②教育(知識や技能を持つ)
- ③生計手段(経済的自立)
- ④参画(政治や社会に参加)

女性のエンパワーメントのステップ

- ①自信
- ②心と身体の健康
- ③知識・技能
- ④経済的な力
- ⑤共有できる場

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



エスディーゼーズ

SDGs(持続可能な開発目標)の「キーワード」 「持続しない世界を、持続する世界へ」

- ①誰一人、取り残さない
- ②すべての国が取り組む
- ③今までのやり方、考え方を変える
- ④みんなでやる: 政府、国際機関、NGO、企業、教育機関、自治体、そしてひとりひとり
- ⑤ジェンダー主流化(ジェンダーの視点をすべてのゴールに主流化する)

地球環境も、社会も、経済も
ジェンダー平等なしには持続できない!!

世界共通のジェンダー課題

- ・女性に対する暴力(性暴力、DV、セクシャル・ハラスメント)の根絶
- ・無償ケア労働(家事、育児、介護、看護)の負担の軽減と責任の再分配(シェアリング)
- ・STEM(科学・技術・工学・数学)／デジタル領域の教育と参画の拡大
- ・意思決定・方針決定過程への女性の参画(国会議員、管理職・役員などの意思決定ポジション)の推進

日本には、
セクシャル・ハラ
スメントに関する
法律がない！

性差別の解消

賃金格差の是正

環境整備
法律・政策・予算

アンコンシャス・バイアス
(無意識の偏見)

家事や育児、介
護や看護は女性
がやるのが当た
り前！？

ワーク・ライフ・バランス

意識変革

日本でのエンパワーメントとして...

【性と生殖に関する健康と権利】
身体的・精神的・社会的な健康を
維持し自分の意思が尊重され、
自分の身体に関することを自分
自身で決められる権利

- ①健康(自己肯定感、リプロダクティブヘルス&ライツ)
- ②教育(自分の頭で考える力[クリティカルシンキング]・社会の仕組み、動きを読み解く力[リテラシー])
- ③生計手段(経済的自立、リスク管理・備え)
- ④参画(繋がる、助け合う、よりよい社会を創る)

そして、**受援力**(助けを求める力)



ワークはお金を得る仕事のことだけではありません。個人としての自分、社会の一員としての自分をエンパワーメントして、SDGs時代・人生100年時代のライフとワークを充実させたいですね。



ファシリテーター:女性の起業を応援する会会長 西山 彰子さん



「女性の起業を応援する会」は起業支援ではなく、いろんな分野で活躍する人と刺激し応援し合って進んでいきます。一人ひとりがロールモデルとなり、それを目標にがんばる人たちが出てきます。起業を夫に反対されているなどの相談もありますが、自分のしたいことをはっきり伝え、近い人から助けをもらおうとする受援力をつけていくことも大切です。

自分にしかできない強みは必ずあります。自分の強みが自分のためだけでなく、人のためにもなることがあります。自分に自信を持つことが大切だと思います。

パネリスト:しが農業女子100人プロジェクト・百菜劇場 廣部 里美さん



百菜劇場の名前の由来は「畑はたくさん生き物の舞台」。有機農法でのコメ作りをやりたいと自分で決めながらやってきました。ロールモデルがいなかったので、いろんな人の話を聞きに行き、いろんなやり方を学んできました。「しが農業女子100人プロジェクト」を立ち上げ、農業女子が農業を志す女性にノウハウを伝えたり、困ったときに助け合えるプロジェクトを目指しています。一人ではできないけれど、みんなでやっているからできることもあります。自分たちにできることを探して、目標を発信していきたいです。

パネリスト:くさつ☆パールプロジェクトチーム代表・くさつ男女共同参画市民会議い〜ぶん 重原 文江さん



子どもを通じてPTA活動から地域社会に関わってきました。決断の場に女性がいないと女性の声は届きません。い〜ぶんでは、女性議員がなぜ少ないのかに迫り、どうしていくかを考えるワークショップを開催しました。先の草津市議会議員選挙では、一人の女性議員の当選を支えました。起業においても、自分自身に力をつけることが大事です。自分ならではの差別化、自分の強み、こだわりを生かしている人へのきめ細かい応援をしていきたいと考えていますが、その内容を決定する場に女性がいないことが課題だと考えています。

♪ 受講者の声 ♪

- ・自分の生き方の参考になりました。
- ・前進していこうという気が湧いてきました。
- ・エンパワーしている人に私もなりたい。
- ・自信を持って、自分の意思を伝え、生きていくことを目指したい。

